

ぼだい樹

52

2005・6・15 発行
〒496 0851
津島市神明町2
電 0567-25-4154
F 0567-25-4199

宝寿院の春の行事も無事終わり 木々の緑

豊かな中に真つ赤なガーベラや 真つ白な
グラジオラス 鮮やかな黄色の花々が庭を

いつそう引き立てています。六月十五日か

らは 弘法・興行大師の誕生を記念した青
葉祭りが 本山智積院に於いて厳修されま

す。金堂前では大峰山で修行した山伏によ

つて、柴燈こまが 焚かれます。燃え盛る
炎に 煩惱が焼き尽くされます。この行事

に参詣されますと皆様へ火伏せのお不動様
のお札が下賜されます。出かけたいですね。

愛・地球博では、日替わりで イベントが
もよおされ、チケットが当選したり、ロボ

ットと 直接触れ合う事が出来たり、夢の
様な世界が 繰り広げられています。

世界の人々と 触れ合えるチャンスも沢山
あります。ポーランドやイタリアのレスト

ランで 美味しい料理と ワインを片手に
乾杯するのも 楽しみの一つですね。

宝寿院行事案内

八月二十四日 九・十・十一・一時

水子供養・先祖供養をつとめます

案内状を 六月中に発送いたします。

毎月 一・八・十五日 十時から十一時

薬師護摩祈禱・法話

毎月二十四日 十時より

水子供養・お地藏様縁日

毎日 運勢・家相相談 (予約)

地鎮祭・出張祈禱 お尋ね下さい

宝寿院ニュース

四月二十二日に 鯛口(ワニグチ)が

津島市文化財に 登録されました。

三月二十一日弘法大師御正當の寺宝展には

出展します。康安元年今から六百三十年前

に鑄造され、(津島神社)元天王社御宝前に

掲げられていました。明治初年神仏分離の

悪法によって、神宮寺は廃寺され、全ての

仏像仏具は 捨てられる事となりました。

時の宝寿院住職は一年間寺社奉行に日参し、

宝寿院の存続を 訴えましたが 許されず、

ついには、神社奥座敷であるから、買い取

るように言われ、泣く泣く有金をはたいて、

今に残りました。激動の人生だったのです。

神仏分離顛末は 宿三僧都の日記(文化財)

に 書かれています。「どんなに貧しく

なることも、仏法 捨てがたし。」と

立派なお坊さんですね。津島に秀吉や信長

が信仰した神宮寺が 今も存在できたのは、

宿三のお陰です。ところで先日クローバー

テレビ取材を受けました。六月中一日3回

海東西八十八ヶ所六十二番札所宝寿院

と常楽寺です。住職の談話も入ります。

庭の植物もしっかり写してもらいました。

ぼだい樹が 六月の庭の 主人公です。

お釈迦様を 導いて 金剛座に座らせたの

が、ぼだい樹の精と 伝えられています。

素晴らしい香りに 誘われて 蜂がミツを

集めています。沙羅の花も 盛りですよ。

